

玉川上水・野の花だより No. 6 キショウブとカモ

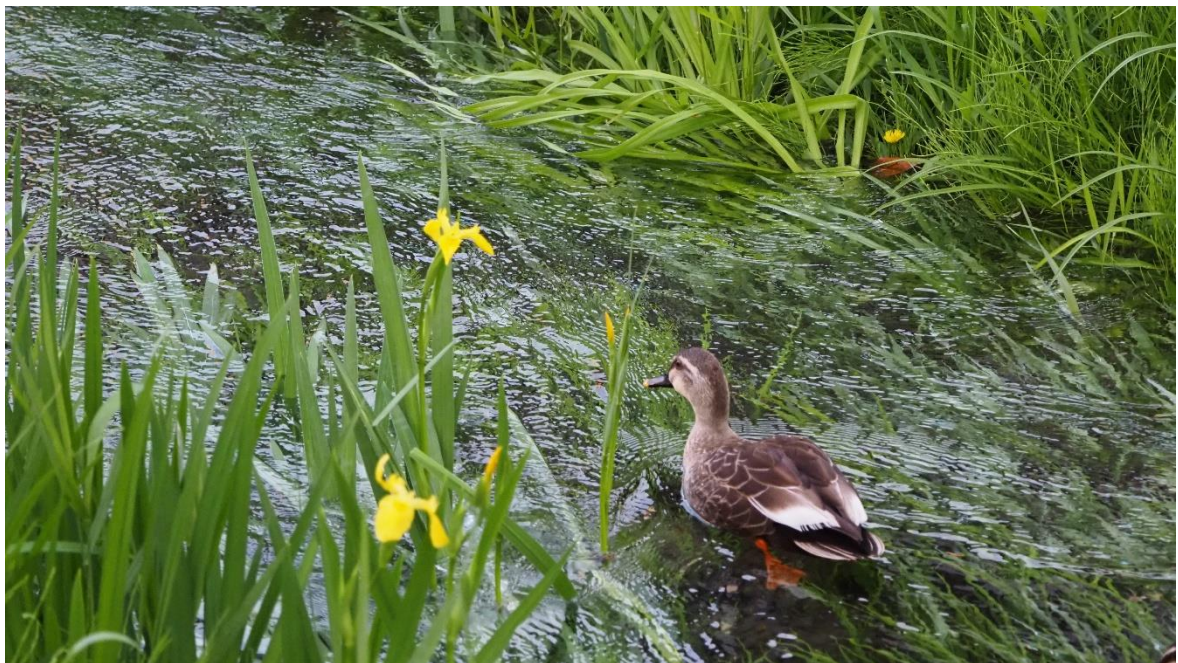
中央大学研究開発機構・機構教授 東京大学名誉教授

石川 幹子 2026年 4月 28日

キショウブが咲き始めました。西アジアやヨーロッパ原産の種で、明治時代に栽培されていたものが野生化し、全国各地で見られます。環境省では、「要注意外来生物」として生態系に影響を与える種とされていますが、適切な管理を行うことにより、遠来の客を大切にす道もあると、私は考えます。

写真は、前日の雨（4月27日）により、水量が豊かになった玉川上水（第三号橋～笹塚橋間）を、悠々と泳ぐカモと、岸辺に咲くキショウブです。渋谷区の玉川上水には、下水は流入していないため、清らかな水が流れています。

水草が青々と育ち、大都会の真ん中にいるとは思えない、豊かな風景を、散歩をしながら楽しむことができます。



キショウブとカモ（玉川上水 第三号橋～笹塚橋の間）